

令和7年8月4日開催

農福連携等地域別交流会 概要報告書

■東北農政局・・・1
■関東農政局・・・2
■北陸農政局・・・3
■東海農政局・・・4

■近畿農政局・・・・・・5
■中国・四国農政局・・・6
■九州農政局・・・・・・7
■沖縄総合事務局・・・8

農福連携等に取り組んでいる3団体からの取組事例発表の後、農業と福祉のマッチング、ルールづくり、ネットワークづくり、地域協議会づくり等をテーマとした意見交換会の場を設けて交流を行った。

▶ 開催概要

日 時	令和7年8月4日(月) 13:10～17:00
場 所	東北農政局A棟7階会議室
参加人数	対面37名、オンライン20名
参 集 者 (対面)	東北地域の農業分野における障害者農業就労促進ネットワーク会員、農業者、農業団体、福祉関係者、障害者就労支援団体、障害者就労に関心のある者、行政機関等

実施内容

項 目	時 間	開催方法
■ 農福連携等地域別交流会in東北農政局 1. 取組事例発表 ・社会福祉法人ユートピアの会事務長 沼田智美氏 ・有限会社耕佑 代表取締役 伊藤秀太氏 ・福島県授産事業振興会統括マネージャー 農福連携コーディネーター 渡部栄昭氏 2. 意見交換会	13:10～14:50	対面・オンライン
■ 農福連携等応援コンソーシアム総会	15:00～17:00	対面・中継

▶ 実施の効果

- ・農福連携等に取り組んでいる3団体(福祉事業者、農業法人、中間支援組織)からの取組事例の発表に対して、参加者から質問・意見等が出された。
- ・「東北には農福連携の実践団体が多くあることが十分に知られていないため、東北地域の応援コンソーシアムの様なものを立ち上げることで、素晴らしい取組をしている団体をPRし、東北の農福連携を更に盛り上げていきたい」、「農福連携のマッチングを広げるには、コーディネーターの役割が重要」、「農福連携の地域協議会の運営にあたっては費用の捻出が課題」などの発言があり、活発な意見交換が行われた。
- ・意見交換会後は、参加者間で積極的に名刺交換が行われるなど、団体の枠を超えた交流が行われた。



農林水産省 東北農政局 農村振興部 都市農村交流課
 (青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3丁目3-1
 TEL:022-263-1111(内線:4121、4118)

関東農政局から農福連携をめぐる情勢について説明を行った後、管内優良事例を発表していただき、団体の枠を超えて交流を行った。

▶ 開催概要

日 時	令和7年8月4日(月) 13:00～17:00
場 所	オンライン
参加人数 (オンライン)	54名
参 集 者 (オンライン)	行政機関、農福連携実践団体、農業団体、社会福祉協議会、特別支援学校、自立支援学校、自立相談支援機関、ひきこもり地域支援センター 等

実施内容

項 目	時 間	開催方法
■ 農福連携等地域別交流会in関東農政局 1. 農福連携の推進に向けて(農政局より) 2. 関東農政局からの施策説明 3. 管内優良事例報告 ・埼玉福興株式会社 代表取締役 新井利昌氏 4. 質疑応答	13:00～14:50	オンライン
■ 農福連携等応援コンソーシアム総会	15:00～17:00	オンライン

▶ 実施の効果

- ・オンラインで開催することで、様々な地域の方が気軽に参加することができ、交流を深めることができた。
- ・協議会的活動をしている既存の団体を正式に地域協議会として発足させるための活発な意見交換がなされ、地域協議会を設立するための要件についての質問や、地域協議会が活用することができる農山漁村振興交付金について相談を行った。
- ・交流会終了後、関東農政局が事務局を務める関東ブロック農福連携協議会への1件の入会申し込みがあった。

農林水産省
関東農政局 農村振興部 都市農村交流課
(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県)
〒330-9722 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1
TEL:048-740-0593(内線:3483)

ノウフク・アワード2024 フレッシュ賞を受賞した佐賀県の事例紹介の後、「地域ではじめる・地域で広げる農福連携」をテーマに、北陸地域の農福連携についてミーティングを行った。

開催概要

日 時	令和7年8月4日(月) 13:30～17:00
場 所	北陸農政局会議室
参加人数	対面13名、オンライン74名
参 集 者 (対面・オンライン)	県・市町農福連携担当者、農福連携コーディネーター、農福連携技術支援者、農福連携実践事業者等

項 目	時 間	開催方法
■ 農福連携等地域別交流会in北陸農政局 1. 事例の紹介 「佐賀県における農福連携の取組」 佐賀県農福連携コーディネーター 藤戸小百合 様 2. 農福連携ミーティング	13:30～14:50	対面・オンライン
■ 農福連携等応援コンソーシアム総会	15:00～17:00	中継

実施の効果

- ・ 講師から佐賀県における先進的な取組について、「中間支援者が農業と福祉の双方を理解し、中立的な立場からマッチングを行うことの重要性」、「農福連携をツールとして、地域に利益を生み出し、活性化につなげていく必要」などの観点から説明が行われた。
- ・ これを受けて、北陸局管内の担当者や事業者から、「障害者への理解と併せて農業を理解している人の中間支援は重要」、「障害者等の働く場の確保、工賃の向上、地域の農業振興に貢献していきたい」、「農福連携の魅力をどう伝えていくかが課題」など、現在の取組における課題や今後の方向性などについて、意見交換が行われた。



農林水産省 北陸農政局 農村振興部 都市農村交流課
 (新潟県、富山県、石川県、福井県)
 〒920-8566 石川県金沢市広坂2丁目2番60号
 TEL:076-232-4890(内線:3487)

先進的な取組を行う3団体からの事例報告及び農福連携商品開発事例を紹介。また、参加者による意見交換を実施し、農福連携を行う方、また、これから検討しようとする方等様々な関係者間での交流を実施。

開催概要

日時	令和7年8月4日(月) 13:15～17:05
場所	東海農政局会議室
参加人数 (対面)	30名
参集者 (対面)	農福連携実践団体、農業団体、福祉事業者、社会福祉法人、行政機関等

実施内容

項目	時間	開催方法
■開会のあいさつ ■各地方農政局等別イベント 1. 農福連携の推進に向けて(東海農政局) 2. 管内優良事例報告 ・社会福祉法人まつさか福祉会 八重田ファーム 管理者 上山浩司氏 3. 農福連携商品開発事例の紹介 ・株式会社JAぎふはっぴいまるけ 統括部長 高橋玲司氏 ・社会福祉法人無門福祉会 事務局長 磯部竜太氏 4. 意見交換会	13:15～13:20 13:20～15:00	対面
■農福連携等応援コンソーシアム総会 ■閉会のあいさつ	15:00～17:00 17:00～17:05	中継 対面

実施の効果

- 管内の先進的な取組事例の共有のほか、意見交換に当たっては参加者に事前アンケートで関心事項を聞きグループ分けを行い、実施した。この結果、「支援員の確保のほか、福祉事業所と農家の勤務時間が合わないことが課題」、「行政やJAと連携したり、共同体を作るとよい」、「当地域では離農が課題となっているが、農福連携は雇用創出にもつながり、機運が高まっている」等、活発な意見交換が行われるとともに、関係者の間をつなぐ取組につながった。
- 6次産業等の取組を行う者へも声をかけ、現在農福連携を行っている者のみならず、これから農福連携を考えたいとする者が、取組にあたり懸念する点等について助言を得る場にもなった。



農林水産省 東海農政局 農村振興部 都市農村交流課
 (岐阜県、愛知県、三重県)
 〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2
 TEL:052-223-4630(直通)

地域単位の推進体制づくりの契機となるよう、農福連携実践者（ノウフクアワード受賞団体等）や地方公共団体（府県等）、国の機関（近畿矯正管区及び近畿厚生局）などの関係者が参加し、事業紹介、意見交換により、団体の枠を超えた交流の場となった。

開催概要

日 時	令和7年8月4日（月） 13:15～17:00
場 所	TKPガーデンシティ京都タワーホテル
参加人数 （対面）	51名
参 集 者 （対面）	行政機関、農福連携実践団体、農業 団体、農福連携をテーマに研究する 大学院生等

実施 内容

項 目	時 間	開催方法
■ 農福連携等地域別交流会in近畿農政局 1. 農福連携の推進に向けて農政局からの 情報提供 2. 管内事例紹介 ・NPO法人HUB's 3. 農福連携取組事業者からの事業紹介と 課題について意見交換会	13:15～13:30 13:30～14:00 14:00～14:45	対面
■ 農福連携等応援コンソーシアム総会	15:00～17:00	中継

実施の効果

- ・「気軽に農福について相談ができる体制づくりが課題」、
「農業者と福祉施設の関係者が集まる場を設けることで、
関係者の意向を具体的な取組に変えていくことができる」、
「地域協議会が様々な取組の可能性を広げる場となる」など、
活発な意見交換が行われた。
また、名刺交換を行うなど、団体の枠を超えた交流の場
となった。
- ・ 地域別交流会後、近畿農福連携ネットワーク（153団体
172名）について、新たに6団体から入会希望があり、また、
地域協議会設立に向けて新たに3市から相談があった。
- ・ 本交流会について新聞報道がなされ、農福連携について、
多くの人に知っていただく機会となった。



農林水産省 近畿農政局 農村振興部 都市農村交流課
 （滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）
 〒602-8054 京都府京都市上京区洞院通下長者町下る丁子風呂町
 TEL: 075-414-9065（内線: 2591）

管内の農福連携実践団体の3団体から「農福事業者が行う、販路開拓・売れるモノづくりの工夫」のテーマに沿った内容にて事例を報告いただき、その後、意見交換会・名刺交換の場を設け、団体の枠を超えて交流を行った。

開催概要

日 時	令和7年8月4日(月) 13:30～17:00
場 所	中国四国農政局会議室
参加人数	対面30名、オンライン52名
参 集 者	農福連携実践団体、農業団体、社会福祉協議会、障害者就労センター、バイヤー、新聞社、行政機関等

実施内容

項 目	時 間	開催方法
■農福連携等地域別交流会in中国四国農政局 1. 管内優良事例報告会 テーマ：農福事業者が行う、販路開拓・売れるモノづくりの工夫 ・岡山自立支援センター 代表 岡山県農商 代表取締役社長 板橋良樹氏 ・おもしろ農園 代表取締役 大森一弘氏 ・農福コンソーシアムひろしま 幹事 八天堂ファーム 代表取締役 林義之氏 2. 意見交換会 3. 名刺交換会	13:30～15:00	対面・オンライン
■農福連携等応援コンソーシアム総会	15:00～17:00	対面・中継

実施の効果

- ・意見交換会では、売れるモノづくりに向けて、「福祉として売れる」ではなく、より良い商品づくりに努めること、市場ニーズにより高く売れる時期を狙う等、有意義な情報交換ができた。
- ・多職種間で広く名刺交換が行われた(行政、協議会、バイヤー等)。
- ・交流会について新聞記事に取り上げられ、農福連携の取り組みを拡げる活動について周知を図ることができた。



農林水産省 中国四国農政局 農村振興部 都市農村交流課
 (鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県)
 〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井1-1-4
 TEL:086-224-4511(内線:2158)

農福連携の実施主体2団体(福祉施設1団体、農業生産法人1団体)からの事例報告後に意見交換会の場を設け、団体の枠を超えて交流を行った。

▶ 開催概要

日 時	令和7年8月4日(月) 13:30～17:00
場 所	沖縄総合事務局会議室
参加人数 (対面)	18名
参 集 者 (対面)	行政機関、農福連携実践団体、農業団体、就業・生活支援センター等

実施内容

項 目	時 間	開催方法
■ 農福連携等地域別交流会in沖縄総合事務局 1. 農福連携の推進に向けて (沖縄総合事務局より) 2. 管内優良事例報告会 ・農福連携実施団体～福祉の立場から～ (特定非営利活動法人 大夢) ・農福連携実施団体～農業の立場から～ (株式会社みやぎ農園) 3. 質疑応答・意見交換会 4. 行政等関係者からの情報提供	13:30～15:00	対面
■ 農福連携等応援コンソーシアム総会	15:00～17:00	対面 ・中継

▶ 実施の効果

- ・意見交換会の中で積極的な名刺交換が行われた。
- ・これまでも会議や研修等で一堂に会したことはあるものの話をしたことはないという参加者同士が改めて交流することが出来、今後の連携の基礎となりうる繋がりが構築できた。
- ・事例報告の後の質疑応答を機に、異なる立場における課題が共有され、参加者間での相互理解が深まった。
- ・具体的には、利用者の送迎における段取りや効率的な作業時間確保のための工夫、熱中症対策等、実務面での課題の共有や解決に向けた情報交換が行われた。
- ・参加者から地域協議会の設立に向けた意欲が聞かれ、交付金活用に向けての動きとなりうることも期待できた。



内閣府 沖縄総合事務局 農村水産部 農村振興課
 農村活性化推進室
 〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2-1-1
 TEL:098-866-1652(内線:83336)